

# 訪問看護と緩和ケア

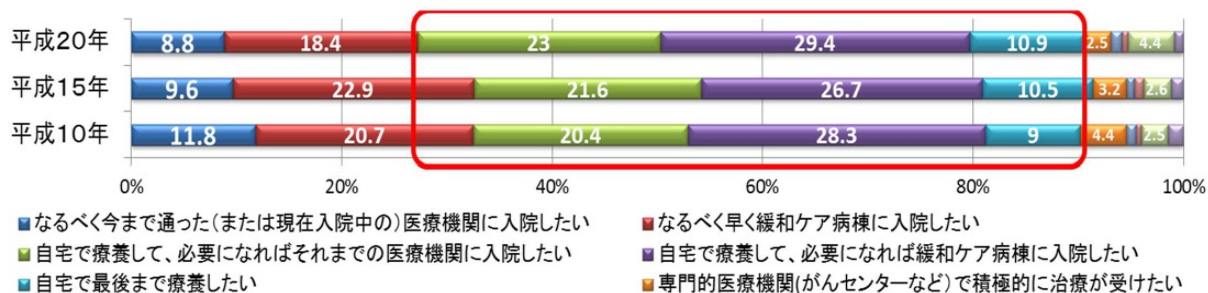
令和3年9月2日木曜日  
一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会  
三塩 操

1

## 国民の意識① 終末期の療養場所について

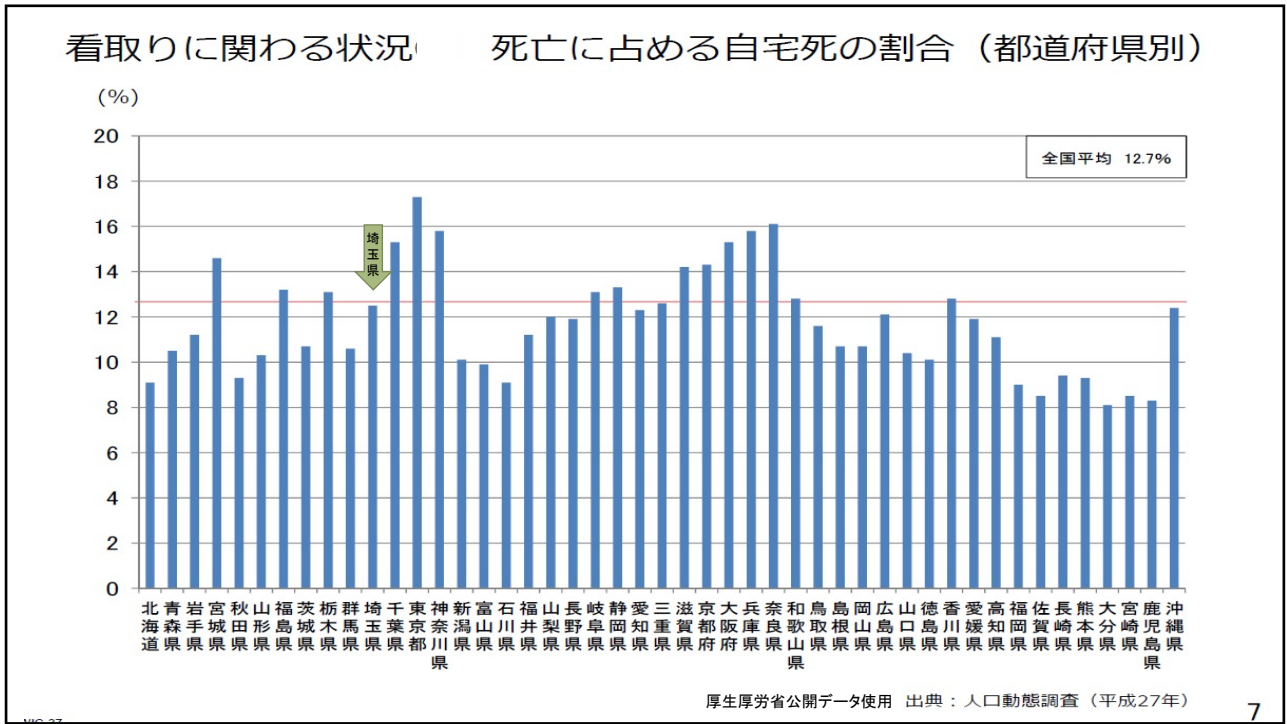
○ 一般国民において「自宅で最後まで療養したい」と回答した者の割合は約1割であった。自宅で療養して、必要になれば医療機関等を利用したいと回答した者の割合を合わせると、約6割の国民が「自宅で療養したい」と回答した。

### ■終末期の療養場所に関する希望

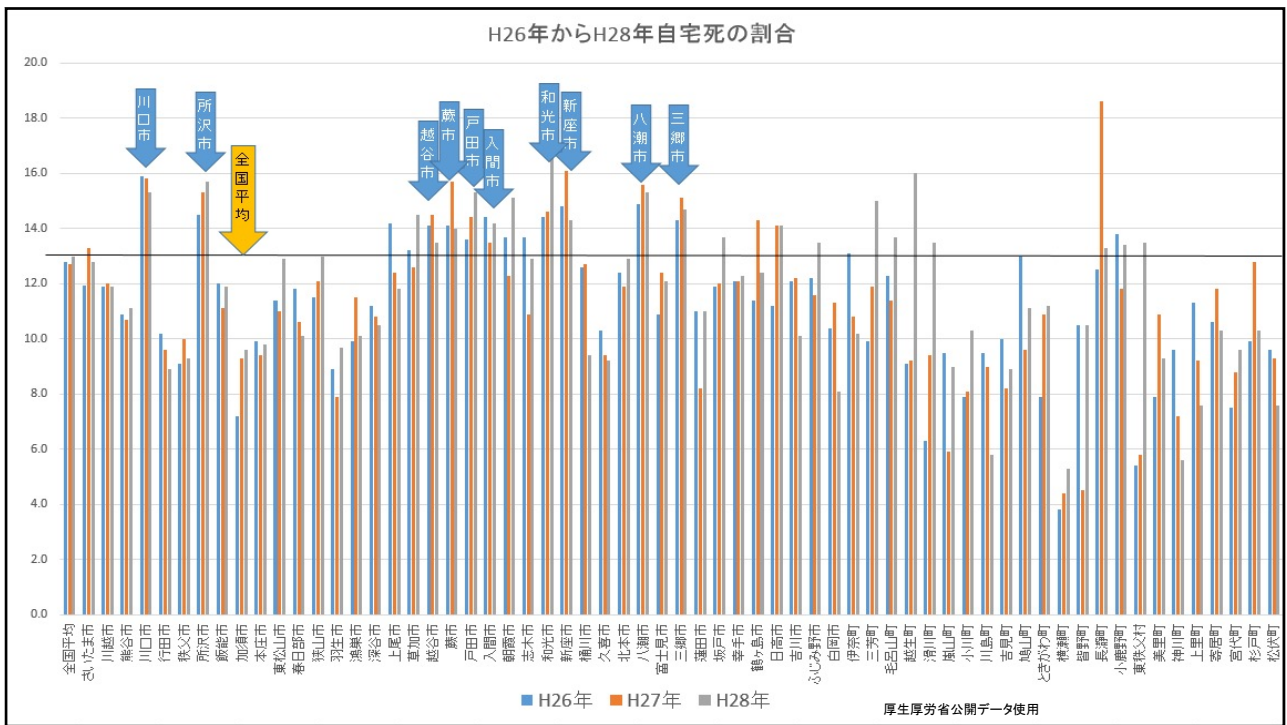


出典：終末期医療に関する調査(各年)

2



3



4

## 訪問看護と緩和ケアのポイント

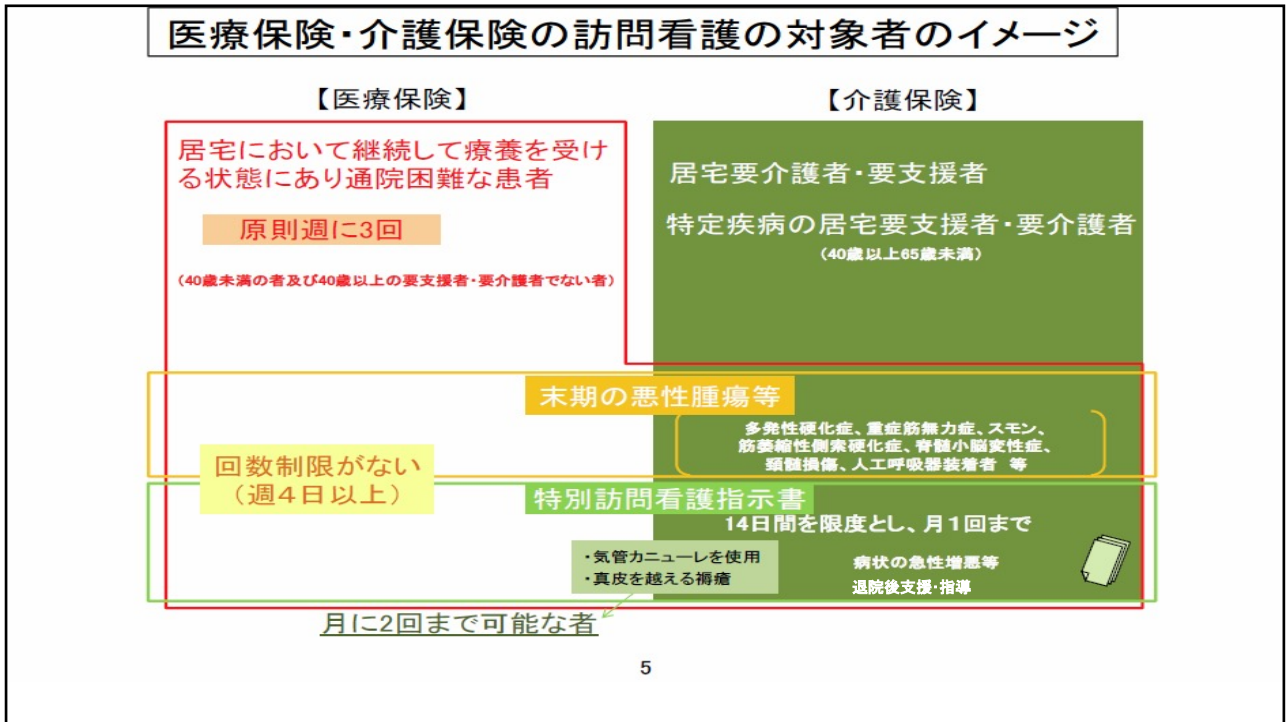
- 1 訪問看護指示書、特別訪問看護指示書  
 病名 がん末期、がん末期、心不全（医療機器利用者）終末期等の記載必要  
 がん以外の疾病 介護保険の際、特別訪問看護指示書のタイミング
- 2 報告、連絡、相談できる関係  
 (1)いつ、どのように報告、連絡、相談  
 「何かあったら訪問看護」  
 (2)医療方針を明確に
- 3 看護師の訪問時に行うこと  
 療養上の世話 診療の補助
- 4 多職種連携  
 介護支援専門員 福祉用具 薬局 ヘルパー 酸素取り扱い業者

5

## 訪問看護指示書について

- 訪問看護指示書（1か月から6か月）  
 訪問看護には必ず必要な指示書
- 訪問看護点滴指示書（1週間）  
 3日以上点滴の時は必要
- 精神訪問看護指示書（1か月から6か月）  
 精神科医師のみ 精神科の訪問看護には必ず必要な指示書
- 特別訪問看護指示書（2週間有効）  
 医療保険、介護保険で急性増悪による毎日の訪問  
 医療機関からの退院後の調整

6



7

### 訪問看護指示書

訪問看護指示期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )

住所: 東京都 区 丁目 番 号

主たる病名: (1) (2) (3)

状態・症状

検査中の薬剤の用量・用法

日常生活の状況

要介護程度の状況

療養上の要

医療機器等

留意事項及び指示事項

1. リハビリテーション

2. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が訪問看護の一環として行うものについて

3. 器具・使用医療機器等の操作補助・管理

4. その他

緊急時の連絡先

不在時の対応

特記すべき留意事項

他の訪問看護ステーションへの指示

たんの吸引等実施のための訪問介護事業所への指示

上記のとおり、指示いたします。

年 月 日

介護実施者  
氏名  
職名  
印  
介護実施施設名称

事業所名 印

(別紙様式18)

### 特別訪問看護指示書 在宅患者訪問点滴注射指示書

※該当する指示書を○で囲むこと

特別看護指示期間 (令和 年 月 日 ~ 年 月 日)

点滴注射指示期間 (令和 年 月 日 ~ 年 月 日)

患者氏名 生年月日 明・大・昭・平 年 月 日 ( 歳 )

病状・主訴

一時的に訪問看護が頻回に必要な理由:

留意事項及び指示事項 (注: 点注注射の留意事項・注意事項についての留意点があれば記載して下さい。)

点滴注射指示内容 (投与薬剤・投与量・投与方法等)

緊急時の連絡先等

上記のとおり、指示いたします。

令和 年 月 日

医療機関名  
電話  
(FAX.)  
医師氏名 印

事業所 殿

8

## 2. 連絡・報告・相談のできる関係

9

### (1)いつ、どのように報告、連絡、相談

- ① 連絡してよい時間を示してください。  
例)夜間 18:00～24:00  
6:00～ 8:00  
12:00～14:30
- ② 緊急時はどうしても連絡を取らなければなりません。ご理解を！
- ③ ご利用者様にどんな時に連絡したらよいか教えてください。  
“状態がおかしいなと思ったときは、看護師さんに連絡して”
- ④ 必要な時に医療との連絡が取れること、医師と看護師の連携がよくできていることがご利用者様やご家族に信頼と安心を与えます。  
在宅では、これが緩和ケアにつながります。

10



11

## (2) 医療方針を明らかにしてください。

- ①ご本人、ご家族に病状をご説明し、どうしたいかをご確認してください。
- ②その内容を看護師にお教えてください。

12

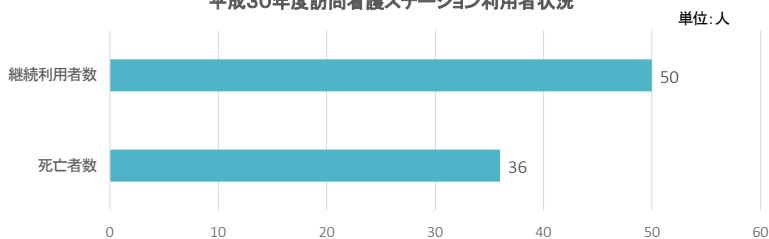
## 退院カンファレンスを受けて死亡された方

	性別	年齢	看取りの場所	退院カンファレンス	治療	退院時もしくは訪問初回時		在宅診療
						予後説明	希望の最期の場所	
1	男性	68	自宅	有	苦痛管理	本人予後説明	自宅看取り希望	あり
2	男性	68	自宅	有	なし	本人予後説明	自宅看取り希望	あり
3	男性	89	自宅	有	点滴 吸引	家族説明	自宅看取り希望	あり
4	女性	95	自宅	有	酸素・吸引機	老衰末期状態	自宅看取り希望	あり
5	女性	80	自宅	有	痛み管理	本人予後説明なし	自宅看取り希望	あり
6	男性	89	自宅	有	点滴・酸素	家族説明	自宅看取り希望	あり
7	男性	85	自宅	有	バルン留置褥瘡処置		自宅看取り希望	あり
8	男性	70	自宅	有	腹水穿刺	予後本人告知	自宅看取り希望	あり
9	女性	71	自宅	有	結腸腔室手術ストマ造設	脳腫瘍の治療中腔室ストマ造設		病院→在宅
10	男性	76	病院	有	痛み管理	本人・家族説明なし		あり
11	男性	88	病院	有	胸水穿刺・痛み管理		自宅看取り希望	あり
12	男性	74	病院	有	治療続けたい	本人病状説明		病院
13	男性	63	病院	有	ポート栄養点滴 化学療法	本人病状説明		病院
14	男性	81	病院	有	なし	原疾患への治療無理	緩和ケアへ	あり
15	女性	77	病院	有	酸素	夫・娘予後不良説明	自宅か緩和ケア	病院
16	男性	76	病院	有	したくない	病状知っている	本人は自宅を希望	病院
17	女性	83	病院	有	腸瘻	家族予後2~3か月	ホスピス・療養所	あり

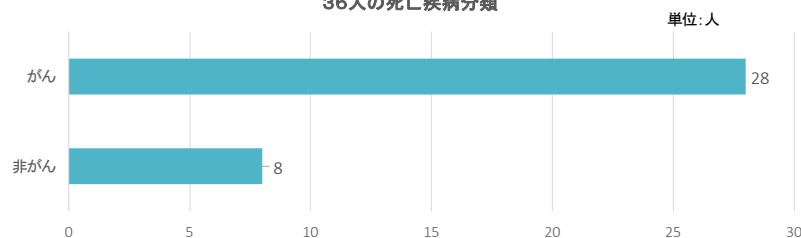
平成30年度データから

13

### 平成30年度訪問看護ステーション利用者状況

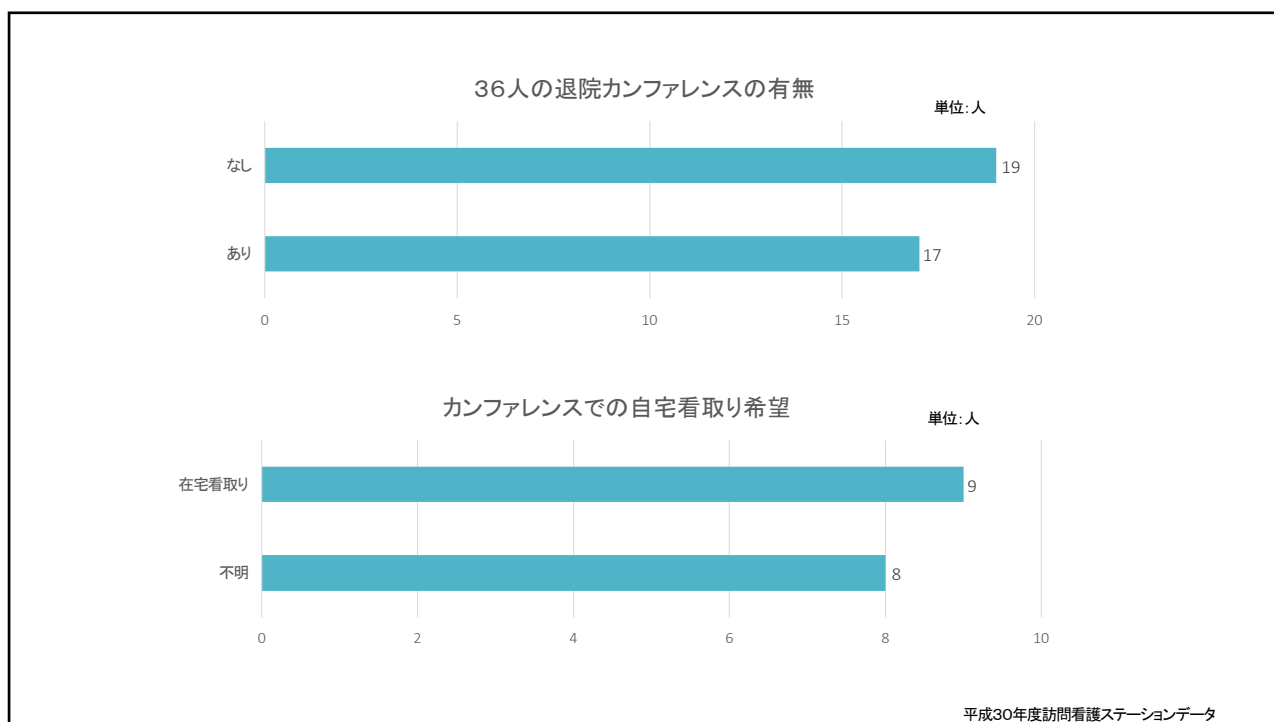


### 36人の死亡疾病分類



平成30年度訪問看護ステーションデータ

14



15

### 3 看護師の訪問時に行うこと

- (1) 療養上の世話 身体の清潔、栄養指導、排泄の世話等、  
口腔ケア、フットケア(爪切り、足浴等)
- (2) 診療の補助 バイタルサイン測定(体温、脈拍、呼吸、  
血圧、SPO<sub>2</sub>等)病状観察、点滴(血管確保、中心静脈栄養、  
輸液ポンプの管理等)、酸素管理(ボンベ、酸素濃縮器等)、  
吸引、胃瘻処置、痛みの観察、投薬(内服薬、麻薬、目薬、座薬、  
水薬、PCAポンプ管理等)、褥瘡管理(薬剤投与、処置、定期的  
な評価等)、リハビリ(ROM、歩行訓練、嚥下体操等)

16



## 4 多職種連携

- (1) 介護支援専門員 介護保険は、ケアプランがないと使用できない
- (2) 福祉用具 車いす、ベッド、ベッド柵、エアマット、歩行器、吸引器、点滴台等、家屋改修(ケアプラン、申請が必要)
- (3) 薬局 薬剤処方への対応、薬剤の一方化、調剤(点滴、中心静脈栄養材、麻薬の装填等)、衛生材料の処方対応
- (4) ヘルパー 身体の介助(入浴、食事、排泄、口腔ケア等)、生活介助(掃除、買い物、調理等) 診療の補助(胃瘻・腸瘻からの食事、吸引(口腔、鼻腔、気管切開部))
- (5) 酸素等医療機器取り扱い業者 酸素ボンベ、酸素濃縮器、人工呼吸器、輸液ポンプ、PCAポンプ等

17

## おわりに

がん末期の患者さんは、医療保険で医師の指示のもと、定期的もしくは必要時訪問看護が支援します。薬局の薬剤師さんは必要な薬剤を準備し、自宅に届け、薬の説明をしてくれます。

介護支援専門員は介護保険を使って、快適に家で過ごせるようにケアプランをたてます。そのプランに沿って、福祉用具は、必要なベッド、ベッドマット、ベッド柵を用意し、時に車いす、歩行器、点滴台、吸引機も用意してくれます。障がいがあり、今の家では生活できなければ、段差をなくしたり、手すりを付けて安全な家に改修してくれます。ヘルパーさんは、生活援助、身体介助をしてくれ、日常生活の必要なところを補ってくれています。

多職種の協力のもと、自分の住み慣れた家でご家族と一緒に過ごし、最期を迎えられるように支援するのが我々在宅の緩和ケアチームです。

18

ご清聴ありがとうございました。